

平成7年度畑作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成7年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討会を平成7年12月4日、植調会館会議室において開催した。

本年度供試された畑作関係除草剤は、定性試験1剤、作用性試験22剤、適用性試験29剤であ

った。

このうち、適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行っ

た。

その結果は、次表の通りである。

平成7年度 畑作除草剤試験中央判定および使用基準

薬 剤 名	作物名	中央判定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑草	処理方法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯		使用上の注意
1. AC-263 液 ・2-(4-Isopropyl-4-me- thyl-5-oxo-2-imidazolin- 2-yl)-5-(me- thoxy methyl)-ni- cotinic acid ……0.8%	大 豆	「継」								・効果・被害の再検討。
	小 豆	「実・継」	一年生 広葉雑草	土 壌	播種後、 雑草発生始期	20～ 30ml/ 散布水量 10l	全土壌 (砂土を除く)	寒 地	・但し、寒地では 出芽直前～出芽 始までに使用する。	
	菜 豆	「継」								・効果・被害の再検討。
2. BAS-3510 (Na)㊤ 液 ・ペンタゾン ………40%	大 豆	「実・継」	一年生 広葉雑草	茎 葉	生育期、 広葉雑草 3～ 6 葉期	10～ 15ml/ 散布水量 10l	全土壌	温暖地 暖 地	1. 次の品種に適用 する。〔適用品 種：アキシロメ、 アキヨシ、エン レイ、オオツル、 スズユタカ、タ チナガハ、タマ ホマレ、トヨシ ロメ、ナカセン ナリ、ハヤヒカ リ、フクユタカ、	・適用品種の拡大、地域拡大

薬 剤 名	作物名	中央判定	使 用 基 準						継 の 内 容
			対象雑草	処理方法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	
2. BAS-3510 (Na)① 液 (つづき)									ミヤギオオジロ, 宇陀大豆, 新丹 波黒, 丹波黒, ギンレイ, リュ ウホウ, 鈴の音, むらゆたか〕 2. 広葉雑草優占圃 場で使用する. 3. 体系処理: イネ 科雑草に有効な 既登録土壌処理 剤を使用する.
3. CG-123 フロアブル ・アトラジン15% ・メトラクロ ール.....25%	とうも ろこし	「実・継」 (前年通り)	一年生 雑草全 般	土 壌	播種後, 雑草発 生前	20～ 40m/ 散布水 量 10l	全土壌 (砂土 を除く)	寒 地 寒冷地	・地域拡大(イ チビ).
						10～ 30m/ 散布水 量 10l	火山灰 土	温暖地 暖 地	
			茎 葉	とうも ろこし 2～4 葉期		20～ 30m/ 散布水 量 10l	全土壌 (砂土 を除く)	寒 地	
						30～ 40m/ 散布水 量 10l		寒冷地 以西	
						40～ 60m/ 散布水 量 10l		寒冷地 温暖地	
4. CG-205 顆粒水和 ・プロスルフ ロン.....70%	とうも ろこし	「継」							・効果, 薬害の 再検討.
5. DCMU 水和 ・DCMU50%	さとう きび (春植, 夏植)	「実・継」	一年生 雑草全 般	土 壌	植付け 覆土後 または 培土後	16～ 20m/ 散布水 量 10l	非火山 灰土	暖 地	・効果の年次間 差, 薬量の検 討, 適用土壌 の拡大, 株出 し栽培につい て.

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準						継 の 内 容
			対象雑 草	処理方 法	処理時 期	使用量 製品/a	適用土 壤	適用地 帯	
6. Hoe-866液 ・グルホシネー ト……18.5%	さとう きび	「継」							・効果、薬害の 再検討。
7. Hoe-866- 3H 水和 ・グルホシネー ト……10% ・DCMU ……15%	ばれい しょ	「継」							・効果、薬害の 再検討。
8. NC-331① 水和 ・ハロスフロ ンメチル ……5%	とうも ろこし	「実・継」	イチビ	茎 葉	イチビ 3～5 葉期 (とう もろこ し3～ 5葉期)	5～ 10g 散布水 量 10l	全土壌 (砂土 を除く)	温暖地	・地域拡大、草 種と効果につ いて、適用土 壌拡大。
							火山灰 土	暖 地	
	さとう きび (春植)	「実・継」	一年生 広葉雑 草およ びハマ スゲ	茎 葉	さとう きび生 育初期 広葉雑 草3～ 5葉期、 ハマス ゲ3～ 5葉期	15～ 20g 散布水 量 10l	非火山 灰土	暖 地	・夏植え、株出 し栽培につい て。
9. NC-360 フロアブル ・キザロホップ エチル…7%	大 豆	「継」							・効果、薬害の 再検討。
	小 豆	「継」							・効果、薬害の 再検討。
	菜 豆	「継」							・効果、薬害の 再検討。
	てんさい	「継」							・効果、薬害の 再検討。
10. NP-55 乳 ・セトキシジム ……20%	ばれい しょ	「実」 (前回通り)	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	15～ 20ml 散布水 量10～ 15l	全土壌	全 域	1. イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2. 体系処理；広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。

薬 剤 名	作物名	中央 判定	使 用 基 準						継 の 内 容	
			対象雑 草	処理方 法	処理時 期	使用量 製品/a	適用土 壤	適用地 帯		使用上の注意
11. NP-61 乳 ・成分未公開 ……………10%	大 豆	「継」								・効果、薬害の 再検討。
12. PL-10 細粒 ・ペンディメタ リン…1.5% ・リニュロン ……………1.0%	とうも ろこし	「実・継」	一年生 雑草全 般	土 壤	播種後、 雑草発 生前	500～ 600g	全土壌 （砂土 を除く）	寒 地	1) 碎土、整地、覆 土を丁寧に行い 均一に散布する。	・適用土壌の拡 大。
						400～ 600g		寒冷地 温暖地		
							火山灰 土	暖 地		
13. RYH-104 顆粒水和 ・新規化合物 ……………75%	とうも ろこし	「継」								・効果、薬害の 再検討。
14. S-604 乳 ・クレトジム ……………25%	大 豆	「実・継」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	3.5～ 5m/ 散布水 量 10l	全土壌	寒 地 寒冷地 温暖地	1. イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2. 体系処理；広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	・効果の確認、 地域拡大。
	小 豆	「実」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	3.5～ 5m/ 散布水 量 10l	全土壌	寒 地	1. イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2. 体系処理；広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	
	菜 豆	「継」								・効果、薬害の 再検討。
	てんさ い	「実」	一年生 イネ科 雑草	茎 葉	イネ科 雑草3 ～5葉 期	3.5～ 5m/ 散布水 量 10l	全土壌	寒 地	1. イネ科雑草優占 圃場で使用する。 2. 体系処理；広葉 雑草対象の既登 録土壌処理剤を 使用する。	
15. SB-508 乳 ・ジメテナミド ……………76%	とうも ろこし	「実・継」 （前年通り）	一年生 イネ科 雑草	土 壤	雑草発 生前～ 発生始 期まで （播種 後～と うもろ こし2 葉期ま で）	10～ 15m/ 散布水 量 10l	全土壌 （砂土 を除く）	寒冷地 以西		

薬 剤 名	作物名	中央判定	使 用 基 準						継 の 内 容
			対象雑草	処理方法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	
16. SB-536 乳 ・既知化合物 ………12% ・既知化合物 ………14%	大 豆	「継」							・効果、薬害の再検討。
	とうもろこし	「継」							・効果、薬害の再検討。
17. SL-160 顆粒水和 ・フラザスルフ ロン………25%	さとうきび (春植、夏植)	「実・継」	一年生 雑草全般	茎 葉	さとうきび生育初期、 雑草発生盛期～生育初期	1.5～2.0 g 散布水量 10l	非火山灰土	暖 地	・効果の確認、株出し栽培への拡大、薬害について。
18. SL-950 乳 ・ニコスルフロ ン………4%	とうもろこし	「実・継」 (前回通り)	一年生 雑草およびシバムギ	茎 葉	とうもろこし3～5葉期、 雑草2～4葉期	10～15m/ 散布水量 10l	全土壌	全 域	1) 飼料用とうもろこしに限る。 2) 殺虫剤との近接散布はさける。 3) 処理後葉が変色（黄白化、紫帯色など）することがある。
19. フェンメディ ファム 乳 ・フェンメディ ファム…13%	てんさい	「継」							・中耕除草後処理について再検討。
20. レナシル・ PAC 乳 ・レナシル ………40% ・PAC…30%	てんさい	「継」							・中耕除草後処理について再検討。

芝生の造成と管理 — 芝草管理者のために —

眞木芳助／編集

B5判 定価20,000円(税込)

環境保全のための資源として芝生の需要が増している。本書は芝生の造成から管理にいたる芝生づくりのすべてをゴルフ場の例を中心に分かりやすく解説。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6(植調会館)
Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665